

ら い ぶ live

Vol.25

私らしさと
居場所の見つけ方

CONTENTS

特集記事

職場で、家庭で、地域で、
ともに“私らしく”



2024年2月
山口市

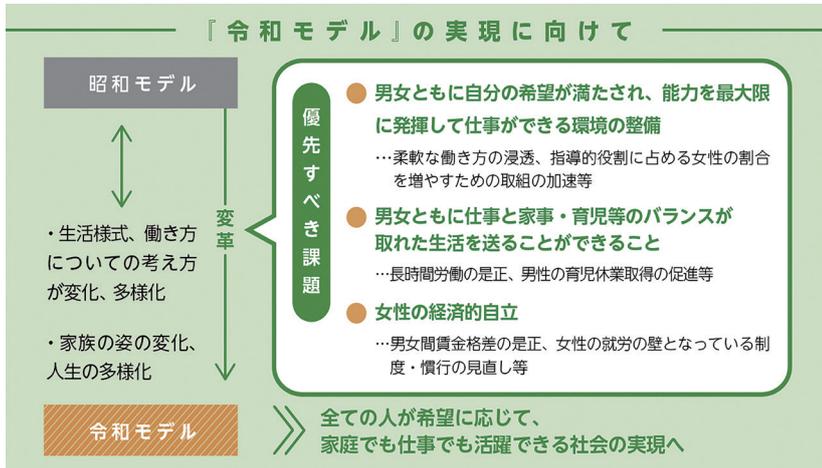
職場で、家庭で、地域で、 ともに私らしく



昨年内閣府が公表した、令和5年版の男女共同参画白書において、「新たな生活様式・働き方を全ての人の活躍につなげるために『職業観・家庭観が大きく変化する中、『令和モデル』の実現に向けて』」と題した特集が組まれました。

そのまとめ部分を要約すると、性別を問わず、希望に応じて、家庭でも、仕事でも活躍できる社会の実現、既婚者も非婚者も、子供がいる人もいない人も、誰もが活躍できる社会の実現こそが、これからの日本が目指すべき『令和モデル』の社会と捉えています。そして、世界情勢も、我が国の経済情勢も先行き不透明な中、全ての人が活躍できる『令和モデル』への転換の先にこそ、我が国の更なる成長があると述べられています。

また、「男性は仕事」「女性は家庭」という、いわゆるサラリーマンの夫と専業主婦から成る家庭を前提とした制度、固定的な性別役



今回は、この特集をふまえ、「性別を問わず、誰もが活躍できる社会」に向けた、市内の現状と取り組みについて紹介します。

例えば家庭内で家事・育児・介護等を頑張っているのに、仕事をして収入を多く得ないと「活躍」していないみたい：そんなモヤモヤを感じる方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

女性の社会進出や経済的自立は大切なテーマですが、ひとりひとりの個性や多様性は尊重されなければなりませんし、家事・育児・介護等の無償労働も、有償労働と同じく当然日々の生活に欠かせないものです。

例えば家庭内で家事・育児・介護等を頑張っているのに、仕事をして収入を多く得ないと「活躍」していないみたい：そんなモヤモヤを感じる方もいらっしゃるのではないのでしょうか。



内閣府が実施した世論調査では、特に10代から20代の若い世代の男性で、家事・育児等に抵抗が少なく、家事・育児等への参画意欲や、育児休業取得意欲も、それ以上の世代と比較して高くなっています。

なお、生活時間の国際

また、保育士や介護士などの仕事で活躍する男性も、着実に増えています。

介護業務に携わる
男性が思う「男女共同参画」

山口市社会福祉協議会・南部指定居宅介護支援事業所



中村大悟

私は現在、ケアマネジャーとして介護業務に携わっています。これまで、介護タクシー、ホームヘルパー、施設の介護スタッフなど、様々な現場で働いてきました。

男女共同参画を進めるうえで、女性の社会進出が謳われていますが、福祉の現場では男性が活躍できる環境づくりが必要と考えますし、ひとりひとりの個性を周りが尊重することで、活躍できる場所を得ることができると感じています。

同じ業務、同じ職場、同じ地域の中で、女性だからできる事、男性だからできる事、そして、その人だからできる事、それぞれの役割を見出して、お互いに尊重し合うことが男女共同参画の第一歩ではないかと思っています。



マーケティング室 室長

光井 様子

秋川牧園には、やはり“食”に関心の高い人が多いです。結婚・出産を経て、そのくらしの中の経験をいかして働いている人も多く、商品開発チームのリーダーは新卒で秋川牧園に入り、家庭と子育てを両立しながら、お母さん目線で開発を続けています。

子育てが落ち着いてから、再び、仕事をしたい！と働き始めた人も多く、年齢の幅は高校新卒の18歳から最高齢では75歳まで、元気に働いていらっしゃいます。

私は、新卒でテレビ局に入社し、そこで得た“人に伝える仕事”の経験を生かして、秋川牧園ではマーケティングを担当しています。個人に応じて、働き方や能力の活かし方を相談し、双方にとって一番力が発揮できる働き方を話し合える会社だと思います。

総務部部長 経営企画担当
役員室 室長

正木 富之

株式会社豆子郎では、一人ひとりの社員が、自分の強みを生かしたりとか、やっていることに誇りが持てたりとか、家族を持って幸せになれたりとか、100人いたら100とおりの人事を会社が考えてくれます。

例えば、ある女性正社員が結婚を機に東京へ転居することになった際、本人に継続勤務の希望があり、そこで、1年前から話し合いを進めていった結果、本人の強みである総務のサポート業務を遠隔でしてもらう形でのテレワーク勤務を新たに導入しました。

現在は、オンラインショッピングのシステム管理、電話やインターネットでの受注業務などを担当しています。また、常時接続でお互いの状況が見えるため、新人社員のサポートも行っています。

市内の事業所は、 どんな取り組み をしているの？

『令和モデル』の早期実現のためには、事業所による積極的な取り組みが必要です。ここでは、昨年10月に県主催で行われた「やまぐち女性活躍応援団 地域シンポジウム in 山口」にご参加いただいた地元企業2社に、自社の取り組みをご紹介します。

私らしくHATARAKU計画

山口市ふるさと産業振興課では、女性が働くことを前向きに捉え、自分らしく働くための第一歩を支援するとともに、誰もが生き生きと働ける地元企業の職場環境づくりに取り組む事業として「山口市女性しごと応援プログラム 私らしくHATARAKU計画」を実施しています。

この事業では、未就労の女性人材の就業意欲を高めるための「スタートアップ講座」や、仕事と家事・育児・介護等との両立、就職・転職、正規雇用化を目指す女性へ向けた「スキルアップ講座」等を開催しています。また、今年度は新たに、男性向けに家事・育児への参画や育児休暇取得の促進を目的とした「パパたちの育児参画フェスタ」を開催しました。

企業向けの支援としては、女性従業員の学びと情報交換を目的としたセミナー、経営者や人事担当者を対象としたセミナー等を開催しているほか、市内の中小企業を対象に、女性活躍推進のための取り組みにかかる費用の一部を助成しています。

ゆめぼぼら講座

今年度、山口市男女共同参画センターゆめぼぼらでは、収入や就職・転職・副業へ不安を持つ方に向けて、新しいことへの挑戦を後押しする「働くきっかけ応援セミナー」(全3回)を開催し、適切な家計把握の仕方や、自らのパーソナリティに合った仕事選びなどについて考え、働くことへの不安や疑問を解消するための学習機会を設けました。

また、昨年12月には、「地域における男女(とも)に活躍推進リーダー研修」と題した研修会を行いました。

様々な地域課題の解決にあたっては、多様な価値観や発想を反映させることが不可欠であり、男性に比べてまだ少ない女性リーダーの育成と活躍が求められています。本研修では、大学生を交えた約60名の参加者が、基調講演の後に10グループに分かれてワークショップを行い、自分の暮らした地域を思い描き、男女共同参画による地域づくりの未来について話し合うとともに、理想のまちに自らがどのように貢献できるかを考えました。

私らしさと居場所の見つけ方

居場所ってなんだろう

ここが「私の居場所」だと感じられるためには、**①必要とされている存在だと思える**、**②誰かの役に立っている実感がある**、**③ほかの人と大差なく暮らせる**、**④他者と共有できる公のものが多い**ことなど、他者との関係が大きく関わってきます。

ただし、そこに居ても良いかを決めるのは他者とは限りません。実は多くの方が自らに呪いをかけていて、誰もが「ここに居てもいいのだ！」と思えるようになるためには時代の変化に応じた価値観のアップデートが必要なのです。

なぜ私は私を受け容れられないのか

女らしいファッション・振る舞い・趣味・性格について考えてみてください。今日初めて出会ったのに、だいたいいんな同じものか想像できる恐怖。つまりこれが文化として私たちに刷り込まれたものです。

一般的に「女らしい」と言われることは、従属的で、主体性がなく、受動的でいることにつながる落とし穴があります。そして、理想とされる「女らしい」姿とかけ離れたと自責し、理想に近づくほど自信がなくなる、という「自己受容

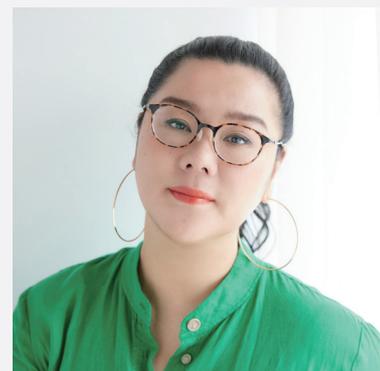
私らしさの見つけ方

「私の居場所」だと感じられるためには、前述の4つの条件とともに、自分らしくあっても疎外感を持たずに済むことが重要な要素です。そのために「普通」という言葉には決して惑わされないでください。「普通」は、時代によってどんどんカタチを変えていくもの、人によって異なるもので、ある程度の幸せを約束してくれる万人に共通したものではありません。

トを怠らない。他人に自分の幸せを決めさせない。それが、私らしさを見つけるために必要なことです。また、他者の幸せのかたちを勝手に決めないこと、生き方・家族のかたち・働き方などにおいて選択肢が複数ある社会にすることも、重要だと私は思います。

「べき」は誰かから刷り込まれたものだということを忘れないで、「NOと言う」、「断罪しない」、「できなくても気にしない」、「できると信じる」、「変わることを恐れない」、「未来を怖がらない」ための練習をしてください。

今の自分を客観的に把握、主観的に受容し、価値観のアップデート



ジェーン・スー / Jane Su

コラムニスト・ラジオパーソナリティ。1973年生まれの日本人。TBSラジオ「ジェーン・スー 生活は踊る」、ポッドキャスト番組「ジェーン・スーと堀井美香のOVER THE SUN」のパーソナリティとして活躍中。第31回講談社エッセイ賞を受賞した『貴様いつまで女子でいるつもりだ問題』（幻冬舎）他、著書多数。現在、新聞や雑誌に数多くの連載を持つ。

ゆめぼらのご紹介

山口市男女共同参画センターゆめぼらでは、性別に関わりなく誰もが社会の一員として尊重され、ともに認めあい、支えあい生きる社会の実現に向けて、男女共同参画に関する啓発活動・情報提供や貸館などの事業を行っています。また、DVやセクシュアル・ハラスメントに関する相談のほか、家庭生活、社会生活の様々な悩み事について、相談をお受けしています。

相談の受付日時はウェブサイトにてご確認ください
QRコード、もしくは「ゆめぼら」で検索



○女性相談員による相談

相談専用電話：083-934-2743

面接相談：事前に電話にて要予約

○男性相談員による電話相談

相談専用電話：083-934-2601